

P2

私たちが 目指す道 2014

ごあいさつ 大角社長
第46期を迎えて

みなさまの安全・安心な暮らしを守るために
オオスミスタッフの想い

P3

1968-2013

オオスミのあゆみ

P4-P5

オオスミのサービス

サービスの流れ

ゆあらば 海外展開
こらば 環境部長

P6

オオスミスタッフレポート

会社員Iの反省の目々

オオスミの社会貢献

「100年続けるモニタリング」
プロジェクト

テーマは

「健康」

わたくし、大角武志の取り組みは...

体の健康

ジョギングを始めました。他にはウォーキング(毎年100km)、山登り(年に一度は富士登山等)をしています。

心の健康

とにかく忙しくすること。常に忙しくしていれば悩む暇もありません。また、適度な飲酒や、自然の中で時々のもくもくする事も精神衛生上良いと考えて実行しています。

見町 ← 信玄の棒道 → 北杜市

P7

健康コラム

職場の コミュニケーション

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所室長
西 大輔先生

社員の健康に関する
取り組み紹介

P8

公開企画

オオスミ経営幹部による プレゼン発表会を開催

オオスミへのアクセス 本社地図 / 東京地図

?

オースマイルって?

o-smileは造語ですが、分解すると「o」と「smile」に分けられます。この「o」は株式会社オオスミの頭文字。「smile」は字のごとく笑顔です。Oのsmile、つまり私たちオオスミで働く人間は、常に心に笑顔を持っていたいと願う心からこのような名前にしました。

o-smile

私たちが目指す道 -2014-

ごあいさつ



株式会社オオスミ
代表取締役 大角武志

株式会社オオスミのイヤーズブック『o-smile』の第二号の発行となりました。2012年末に発行された創刊号は多くのお客さまや、関係者の方々から『面白い!』というお言葉を頂きました。お客さまから頂いた言葉の中に『オオスミさんって、そんな仕事もやっていたんだね。』などと、私たちが取り組んでいる幅広い業務をご理解下さり、とても嬉しい場面にも遭遇した

こともありまして。この『o-smile』は、オオスミが目指す姿、この1年の成果などを盛り込み、『オオスミという会社はこんな仕事をしているんだ』、『オオスミってそこを目指していくんだね』、『オオスミの社員は元気なんだね』などと感じて頂ける楽しいイヤーズブックを目指しています。

またこの一年、皆様との素敵なご関係が築けることを心から願っております。

大角武志

第46期を迎えて

昭和43年(1968年)の創業から46期目を迎えることとなりました。これだけ長い間、お客さまからご信頼を頂き、お仕事を頂くことは、本当にありがたいことと感謝しております。

私たちの業務も、この長い年月をかけ少しずつ時代とともに変化をしてくれていますが、この数年は特に大きな変化を求められている時代だと感じています。今でも業務の中心である環境計量証明事業はもちろん今後も力を入れる部分ではありますが、それを核にした新しい力を求められることが多くなったと実感しています。

『環境』という言葉は非常に広い意味を持ちますが、私たちの業務の周りにある『環境』という定義で考えてみますと、様々なエネルギー関連問題への対処、東北を中心とした復興事業に関連する環境事業、海外では新興国の環境問題などへの関心が高まっていると感じています。

そのような中でオオスミは、45期も、使命を果たし成果を収める業務に着手することができました。中小企業等の海外展開支援事業への参画が決定し、東南アジア進出への足掛かりを掴んだこと、原発関連の測定業務を通して、より正確で頼りがいのある部隊の創出をしていること、エネルギー関連事業では省エネに関連するいくつかのプログラムに参加し成果を得たことなどが挙げられます。

第46期は、さらに社員一同が結束し、『地球に暮らす人々に「安全」と「安心」を環境面から提供する』という使命を果たし続け、お客さまに心の底からご満足いただける成果を、仕事を通して提供させていただきますことをお約束致します。

みなさまの安全・安心な暮らしを守るために

オオスミ

スタッフの想い



測定グループ 野田耕司

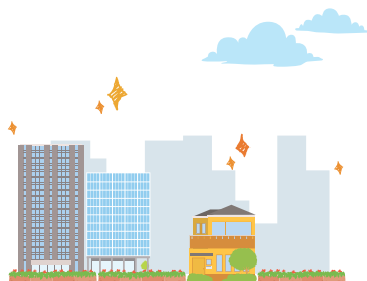
測定グループの野田と申します。現在シックハウス測定の業務を担当させて頂いております。内容は、主に建設工事が終了した段階での、シックハウスの主な要因物質の測定を行うというものです。

測定は竣工間際のピカピカの建物にお伺いして行います。そこで感じることは、すばらしい建物を作り上げるといった目に見える仕事に対して、私たちの測定という業務

は、測定結果報告書という形はあれど、基本的には世間様の目に触れることは無いのだなということです。

それは少し残念ではありますが、むしろ私たちの業務は、測定結果に問題が無く、世の中の表舞台には出ない方が、安全・安心に貢献していることとなります。

これからも測定を通じて、環境という分野で、いわば社会の縁の下の力持ちとして、少しでも貢献できたらと考えています。

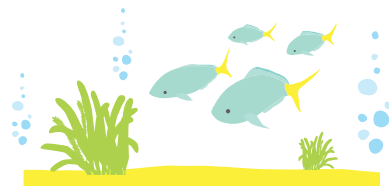


分析技術グループ 吉村拓也

私は出不精なのですが、釣りが好きで時々海や川に出かけます。20年位前、近所の川は異臭がするドブ川で、魚は生息できない川でした。最近では下水道が整備されて水質が向上し、多くの魚が泳いでいます。今年の夏にはその川で、甲羅の長さが30cmくらいのスッポンを捕まえました。「食べられるのかな?」と思いましたが、その時は食べても「安全」なのかどう

かがわからなかったため、もとの川に逃がすことにしました。

汚染の状況を「見える化」することは、環境計量と共通しています。環境に対する要求は常に向上しており、水質を例にすると、悪臭がしなければいいという低いレベルから、水辺で遊べる、生息する魚などを食べられる、といった高いレベルまで様々です。環境計量というアプローチから、そのような要求にこたえられる知識や技術を身につけ、日々の仕事を通して安心安全につながる社会に貢献できたらと思います。



1968-2013

オオスミのあゆみ

安全・安心な環境を創り続けます
osumi
株式会社オオスミ

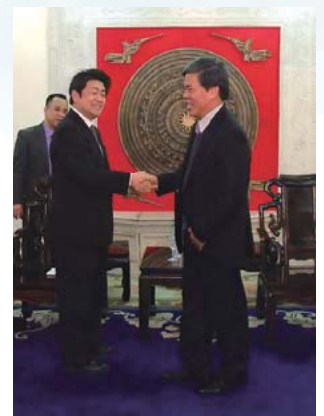


2013年 海外展開支援事業へ積極的進出



2012年 東北支店を宮城県仙台市に開設
福島支店を福島県郡山市に開設

2011年 ODAによる海外への環境分析技術移転に協力
省エネ診断等エネルギー関連業務開始
放射能測定業務開



2009年 環境部長（総合環境マネジメントサービス）
ゆあらば（SEM等による総合技術サービス）業務を開始

2008年 40周年ボルネオ旅行

2006年 東京支店を千代田区に移転



2005年 大和支店開設

2003年 土壤汚染対策法に基づく指定調査機関登録（環境省）
社長交代 代表取締役は大角武志 就任



2001年 建設コンサルタント登録

1992年 (株)オオスミに社名変更
本社を横浜市瀬谷区五貫目町に新築・移転
東京営業所を支店へ組織変更
土壌汚染調査業務の拡大



1987年 アスベストに関する業務開始



1977年 作業環境測定機関登録



1976年 環境計量証明登録を行う

1970年 公害防止関連の測定・分析・コンサルティング業務を開始

1968年 (有)大角化学設立
(水処理薬品の製造・販売から出発)


オオスミのサービス

株式会社オオスミは、環境調査・測定・分析のエキスパートです。私たちは、地球に暮らす人々に「安全」と「安心」を環境面から提供し続けます。




お客様へ提供する 当社の価値

- 1 技術力があること
- 2 正確であること
- 3 スピード感があること
- 4 タイムリーな企画・提案ができること
- 5 1人1人が魅力的な人間であること



	建物解体	着工前	土地	躯体工事・建方工事	仕上げ工・竣工
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> 敷地外周の養生 内装解体 建物の養生 屋根材撤去 	<ul style="list-style-type: none"> 機械による解体 基礎の解体 整地 	<ul style="list-style-type: none"> 埋め戻し 土壌改良 	<ul style="list-style-type: none"> 騒音調査 振動調査 排水 工業薬品 	<ul style="list-style-type: none"> 内装工事 外構工事
オオスミ業務	<ul style="list-style-type: none"> アスベスト調査 PCB調査 PCB含有シーリング材分析 焼却炉解体工事に伴う調査 	<ul style="list-style-type: none"> 建設発生土分析 建設発生汚泥分析 騒音調査 振動調査 排水 	<ul style="list-style-type: none"> 工業薬品 六価クロム 	<ul style="list-style-type: none"> 環境モニタリング (騒音・振動・粉塵・排水・悪臭等) 	<ul style="list-style-type: none"> 室内空気環境測定

ゆあらほ



主役は、いつでもお客さま！株式会社オオスミのそんな想いで、このサービスが始まりました。

「神(本音)は細部に宿る」をモットーに、お客さま立会いのもと、高分解能FE-SEM(日本電子株式会社製、JSM-7600F)を用いて、多くの試験体を観察し、有用なデータを提供できたことは、私たちにとっても嬉しい限りです。


実際の業務では、試験条件による材料細部の構造の変化を実際に観察していただき、その材料の性能が構造の変化により大きく左右されること等を伺うと、まさにゆあ(お客さまの為)らほ(研究室)であることができたという嬉しい体験も数多く経験してきました。

もちろん、守秘義務の遵守により外部に漏れることは絶対にありませんし、お客さまの内情に立ち入った話をするということもありません。

日々進歩していくなかで、常にお客さまに喜んで頂けるサービスを心がけ、粉骨砕身で努力させていただきますので、今後の「ゆあらほ」もぜひご期待下さい。

技術
知識

こらぼ



こらぼとは？
『こらぼ』は、お客さまとオオスミ環境資源システム総合研究所グループが共同して「新材料・新製品・新技術の開発研究・用途開発・事業化」や「試作品・輸入品等の性能試験・評価」を行う新しいサービス。お客さまと当グループが共同して行うサービスなので「こらぼ」と名付けました。

開発研究サービス
新材料や新製品、新技術システムの開発研究をお客さまと当グループが共同で行うことにより、開発研究を効率的、経済的に進め、実用化を促進します。「設備や人材を自前で確保するのは難しいが、新しい材料、製品や新技術システムを開発したい」、「新しい材料や製品を開発したので用途開発を進めたい」など、様々な場面で『こらぼ』がお役に立ちます。

試験・評価サービス
新材料・新製品の試作品や輸入品等について、当グループの豊富な経験と様々な機器・情報等を生かして効率的な試験と評価を行うとともに、普及促進や改善方法、新用途の提案等を行います。

開発研究から事業化まで
『こらぼ』では、試験・調査・測定・分析のプロ集団であるオオスミと共同開発研究で豊富な経験と実績を持つ環境資源システム総合研究所のスタッフがお客さまとのコラボレーションで開発研究～試験・評価～事業化までをフルサポートいたします。

株式会社オオスミと有限会社環境資源システム総合研究所との連携で
ビジネス支援の新兵器「こらぼ」が誕生！

海外展開



モンゴル セメント工場のCO2排出削減可能性調査(環境省/(財)地球環境センター)

ベトナム 簡易測定法を用いた省エネ診断・対策提案及び環境教育推進の案件化調査(JICA/外務省)

モンゴル セメント工場のCO2排出削減可能性調査(環境省/(財)地球環境センター)
モンゴル国のCO2多量排出産業であるセメント工場において、製造工程の改善や日本の省エネ技術を用いたCO2削減の可能性を検討しています。省エネで工場に、大気汚染の緩和で地域に、CO2排出削減で地球環境に貢献できることを目指しています。

ベトナム 簡易測定法を用いた省エネ診断・対策提案及び環境教育推進の案件化調査(JICA/外務省)
ベトナム国の工場・事業所の省エネ診断を実施し、省エネ対策に日本の中小企業の製品・技術を導入につなげる準備を検討しています。今年度はダナン市を調査対象にしていますが、将来の実証・普及につなげ、ベトナム国全国に展開することを目標としています。

環境部長

eco manager

登録商標 登録第5260292号

環境部長業務
『環境部長』がオオスミの新サービスとしてスタートしてから約5年が経ちました。この間に多くのお客さまに本サービスをご紹介し、ご利用いただくことができました。「環境部長」パンフレットに記載されているように、企業活動に関係する環境関連の法令はどんどん変化しています。この変化に遅れることなく対応していくことはとても重要な任務であると日々感じています。

最近では、地下水汚染防止を目的とした水質汚濁防止法の大規模な改正があり、平成23年6月に公布、平成24年6月に施行されました。この改正に伴い、各自治体の条例も改正されました。弊社においても水質汚濁防止法の特定施設・有害物質使用特定施設を設置しているため、施設の構造等に関する基準の遵守や定期点検等の管理が始まりました。この時、担当者はかなり大変だったようです。

「環境部長」業務を行うに当たっては、各事業所のどこを確認しなければならぬかを理解するため、対象となる法令は何度も読み返しています。しかし、オオスミの業務の出発点となっている身近な法令ですが、理解しにくい部分も出てきます。そのような場合には、法令を所管する各地方自治体の関連部署、国の出先機関や中央省庁に問い合わせ、法の解釈を理解し、時にはご指導を頂いています。お客さまへは要点を絞った質問と判り易い説明が必要であり、そこが「環境部長」の業務における難しい部分であると共にやりがいを感じる部分でもあります。

これからも「環境部長」のサービスを通して新しいお客さまと出会うことを楽しみに、法令に関する知識をさらに増やしていきたいと思っています！

※詳しいパンフレットをご用意しております。



オオスミスタッフレポート

会社員Iの 反省の日々

噂のIさんの1日に密着! 早すぎる入社時間の謎が明らかに…!?



4:10 起床

- 風呂の「追い炊き」のスイッチを入れる。昨晚の残り湯。
- 朝刊を取りに行く。 **エコライブ?**
- そのうちの1誌を手に風呂へ。私の履歴書ほか、なじみのコラムから目を通す。今日は特別なニュースもなかったので一汗かいたところで半身浴は終了。
- 日課の腹筋、ストレッチを少々。
- ほとんど流動食(ジュースと果物)の朝食をとる。

5:30 家を出る

- 車通勤。渋滞を避けるためにはこの時間が最適と長年の経験で知っている。



6:20 会社到着

- オフィスには誰もいないが、門扉やセキュリティの状況等で、現場へ直行の社員が既に出発している事がわかる。 **いってらっしゃい!!!**
- これからは自分にとっての至福の時間。仕事柄、チームワークでの小刻みな業務が多いので、始業までのまとまった時間が貴重。同僚のS氏もほぼ同時刻に出社するが、お互いこの時間帯を大事にしているので、挨拶以外はほぼ無言で業務開始。

12:00 昼休憩

- 昼食を自分の席でとる。比較的ゆったり過せる時間であるが、午前中に予定通りいかなかった業務の埋め合わせを少々。昼食時にカタカタと音をさせキーボードに向かう気まずさを感じながら…

手際の悪さ反省!



8:45 始業

- 部門朝礼。ちょっとした情報共有も重要な連絡も、業務開始前に済ますことの出来る貴重な時間。 **もっと有効活用を!**
- 本日は月次決算の監査の日。必要書類を準備。1点、届いていない資料を電話で要請、監査に間に合ったが、これは事前準備の問題。 **反省!**
- 午前中に他部署の社員と社内ルール・運用に係わる件で打合わせ。30分以内で決定し終わりたい旨宣言したが、実質15分超過。 **もったいない。反省!**

12:50 午後の仕事

- 車検証の件で、社有車の一部を点検。問題ないことを確認。一安心。
- 本日は来客予定無しのため月次決算に集中。
- アポイント取得目的の電話が数社続く。「長っ尻」の相手の顔を思い浮かべながら、スケジュール調整を実施。 **他山の石? 程よく切り上げないと逆効果**
- 月次決算のまとめで会計事務所の方と面談。特に問題なく終了。結果の配付・報告の準備にかかる。

19:20 業務終了

- 家族と夕食を共にできるかどうか微妙な時刻。
- 渋滞が1箇所あり、ちょっと時間をロス。

20:15 帰宅

- 残念ながら夕食には間に合わなかった。
- 新聞をよみ、テレビをながめ、最後にメールのチェックをして…
- 入浴。

さみしい…明日はもう少し手際よく!

22:35 就寝

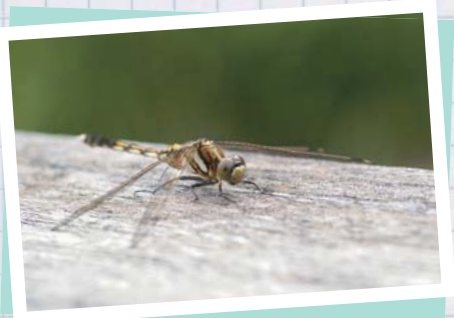
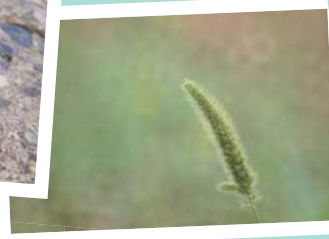
- 反省無しですぐに寝付く。

お疲れ様でした

オオスミ社員の社会貢献

「100年続けるモニタリング」

プロジェクト



里地里山の保全と自然環境の共存を目指して

里地里山。田舎の田園風景を思い浮かべてしまう方が多いと思いますが、「自然と都市との中間に位置し、集落周辺の森林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域」をあらわし、日本各地にそのような場所があります。環境省主体の「モニタリングサイト1000」において、オオスミ社員の有志が集まり、「横浜緑の七大拠点」の地域に隣接している梅田川の流域で活動を行っています。

この活動は、今年で5年目に入り植生調査と鳥類調査を行っています。植生調査は、1ヶ月に1回決められているルートでどのような植物があるかを確認します。花が咲いているかがポイントになり、蕾や種ができている場合も

種類を記載します。鳥類調査は、同じルートを歩きながら確認できた鳥の種類、数を記載します。このデータは、半年ごとに電子データとして提出し、年度ごとの報告書としてまとめられます。その地域の生物多様性がどのように変化しているかを確認するためにデータは使用され、報告書では全国各地のデータを閲覧することができます (<http://www.nacsj.or.jp/project/moni1000/result.html>)。

このプロジェクトは、「100年続けるモニタリング」の目標があり、地域を巻き込みながら里地里山の保全と自然環境の共存を目指して行われています。今後も、このような活動を通して仕事でもプライベートでも社会貢献に携わっていきたいと思います。

健康コラム 職場のコミュニケーション



突然ですが、男性が職場の同僚の女性から言われて、一番うれしい言葉は何だと思いますか？

以前、ある調査会社が行った調査によると、第一位は、

「おはようございます」

だったそうです。その理由は、

「少なくとも、無視されていないことが分かるから」
冗談のような、本当の話です。

スタッフ一人ひとりの幸せのためにも、スタッフのご家族と一緒に働く同僚の幸せのためにも、そして会社の生産性のためにも、こころの健康=メンタルヘルスはとても大切です。そして、メンタルヘルスを良い状態に保つためのキーポイントのひとつが、職場でのコミュニケーションです。

コミュニケーションを良くしていくためには、そのことを意識して、ときには少し練習する必要があります。私たちはみんな、それぞれにコミュニケーションの「クセ」や「パターン」のようなものを持っています。「クセ」や「パターン」が相手とかみ合わないと、コミュニケーションがうまくいかなくなります。

この「クセ」や「パターン」ですが、ある状況ではうまく機能し、別の状況ではうまく機能しない、といったことが珍しくありません。たとえば、感情を表に出さずに冷静に淡々と話すという「パターン」は、交渉事をするときには大きな強みになるでしょうし、チームの中で信頼関係を築こうとするときにはあ

まり強みにはならないかもしれません。

ですから、善し悪しは抜きにして、まず自分の「クセ」や「パターン」がどんなものかを知っておくといいと思います。知っておくだけで、少し引いたところから自分自身を眺めることができるようになり、柔軟性が高くなってコミュニケーションの問題が起こりにくくなります。また、話の聴き方にしても、部下への仕事の頼み方にしても、ちょっとしたコツのようなものがあります。それを学んで、実際に使えるようになると、コミュニケーションはずいぶんスムーズになります。

仕事で成果を上げることに集中したいのに、コミュニケーションに気を使わないといけないなんて面倒くさいと感じる人もいるかもしれません。でも、そうすることでチームとしてこれまで以上の力が発揮されたり、若いスタッフの離職率が下がったりして、結果的に仕事のパフォーマンスも向上することが多いということが知られています。

それに、コミュニケーションは何も特別なことではありません。私たちは子どもの頃から、周りの人とコミュニケーションをとって生きてきたわけですから。周りの人がいつもと変わった様子ならそれに気づいて声をかけ、話を聴き、自分で解決できなかったら誰かに相談する。そして、ほほ笑んで「おはようございます」というだけで、ずいぶん職場の雰囲気は変わってくるのではないかと思います。



国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所室長

西 大輔先生

プロフィール

医学博士、精神科医、産業医。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所室長。

1000人を超える自傷・自殺未遂者と面談した経験から予防の重要性を強く感じ、うつ病などの精神疾患の予防をテーマとした研究で多数の学術論文を出版している。また、講演や執筆を通してうつ病の予防法を伝える活動も展開している。著書の『うつ病にならない鉄則(マガジンハウス)』は、「とても分かりやすい、読みやすい」「すぐ隣で著者が話してくれている感じがする」「ホンワカした気持ちになれる一冊」と多方面から好評を博している。

平成25年11月、第46期オオスミ経営計画発表会でも、西大輔先生に講演をお願いしました。



社員の取り組み

オオスミで働くメンバーに「普段行っている健康に関する取り組み」について聞いてみました。その一部をご紹介します!



所属しているサッカーチーム「深見SCシニア」。

分析技術グループ 小谷 智樹

健康維持のためではないですが、サッカーチームのコーチをしています。教えたり、試合の審判をしたり...

そのおかげで、自分自身のサッカーも再開しました。月に1回のフットサル形式の練習と試合を年に6~7回程度。子供たちや気の合う仲間とサッカーを通じて楽しんでいます。



ライブでのドラム演奏風景。

営業グループ 鈴木 裕二

私は体と心の健康に気を付けています。私は趣味でドラムを叩きます。もう12年目です。

週末の練習と2カ月に一回のライブが、いい運動になっています。その運動が体の健康には欠かせません。

そして、その後のビールが心の健康には欠かせないのです。



2013年奥多摩湖ツーリングにて。

測定グループ 永島 実

私の健康法は、オートバイに乗り続けることでしょうか。以前ある雑誌の記事に『オートバイに乗り続けている人は、乗らない人よりも見た目や身体機能が若く維持できる!』と書かれていた記憶があります。オートバイの操縦は常に車両とのバランスを体全体で取り、前後左右への視点変化が比較的大きな乗り物です。また、マニュアルミッション車は、両手両足がそれぞれ別の操作を行って車両を走らせます。脳への刺激が多いことが良いのではないのでしょうか!



栄養バランスを考えた食材。アプリで管理もバッチリ。

開発室 佐伯 佳美

とにかく動きまわることで健康を保っています。

動き回るためには、質の良い補給が重要!! 最近、栄養スコアを付け始めました。

ざっくりと野菜:5、肉or魚:3、穀物系:2を目標にして、平日にバランスが取れなかった部分を週末で帳消しにするという感じでやっています。栄養バランスと費用を考えて、献立をたてることも楽しくなってきました。



オオスミ経営幹部による プレゼン発表会を開催

公開企画

日時 2013年6月22日(土)
場所 神奈川近代文学館



真剣に伝え合えるプレゼンを目指して

先期より、オオスミ経営幹部による「オオスミ大学」を毎月1回開催しています。内容は、①ピーター・ドラッカー氏に学ぶマネジメント勉強会、②毎回一人が講師となり自ら決めた課題テーマについての講座、③知っているようで知らないビジネス・マナーを見直す勉強会の3本の柱で運営を行ってきました。

この1年の企画の中で1度だけ、公開プレゼンテーション発表会を行いました。これは、小さな会社のブランディングを支援するスターブランド株式会社の「プレゼン・スピーチ教室」とのコラボレーション企画として開催されたもので、発表する方、聴講する方も関連企業や業界内に募集したものです。

プログラムは、オオスミ幹部による10分間プレゼンテーション、『プレゼン・スピーチ教室』卒業生の4名の方の基調講演、最後は社外から参加者のプレゼンテーション発表を行う、総勢22名の一日がかりの発表会となり大盛況のうちに終了することができました。

実は、このプレゼン発表会の目的は勉強会。人前に出て話をする事や、お客さまへのプレゼンテーションで、様々な事を伝える場面は多いと思いますが、そのほとんどはぶっつけ本番。私たちは、発表に対する意見やアドバイスや良かった点をお互いに伝えあうことが重要だと考えました。ですので、聴講者も方々も単に聞くだけではなく、忙しくアドバイスメモを記入しなければなりません。話す方も聞く方も真剣そのものでした。

会場は、横浜の名所『港の見える丘公園』に隣接する、220名収容が可能な神奈川近代文学館の講堂を一日借り切り、終了後は多くの発表者、聴講者とともに横浜中華街での懇親会で親睦を深めました。



2014年も6月21日(土)に実施します!!

プレゼン参加者の声

10分間のプレゼンで伝わったこと

東京支店長 鈴木典子

10分間プレゼン。カップラーメンなら3個作れる、けれど授業は大抵90分。そんな中途半端な時間で何かを伝えられるものだろうか? 「オオスミのミッションができるまで」。後先考えずにテーマを決めたことを後悔しつ本番に臨む。

意外と客席の方々の表情がリアルに分かるものだなあ、と思いつつなんとか辻褃を合せて発表終了。プラス面だけを書くというお約束で皆様から頂いたコメントは、「ほわっとした雰囲気(人柄?)が出ていた」と「服装がよかった」との暖かいお言葉。うーんこれって内容はあまり関係なかったということかなあ? いずれにしても良い経験をさせてもらいました!

伝えることの難しさ

分析技術グループ 平澤智弘

おそらく、このようなプレゼン発表会は当社において初めての試みだったかと思います。正直なところ、どのようなテーマが相応しいのかとかなり悩んだことを憶えています。

自身のテーマは、「環境と分析(測定)」で発表させて頂きました。なぜ、このテーマにしたかというと、我々の環境分析・調査は、まだまだ社会的地位が低い位置にあるのではないかと以前から考えていたからです。

今回、社内外の方々の発表を拝聴して知らない世界の一端を見る、聞くことができ飽きない時間を過ごすことが出来ました。

いろいろな方々に自らの考えを伝えることの難しさを痛感したと共に、プレゼン能力は必要不可欠であることを再認識しました。

貴重な経験であったと振り返り感じています。ありがとうございました!!

アドバイスメモに感謝

営業グループ 若林武幸

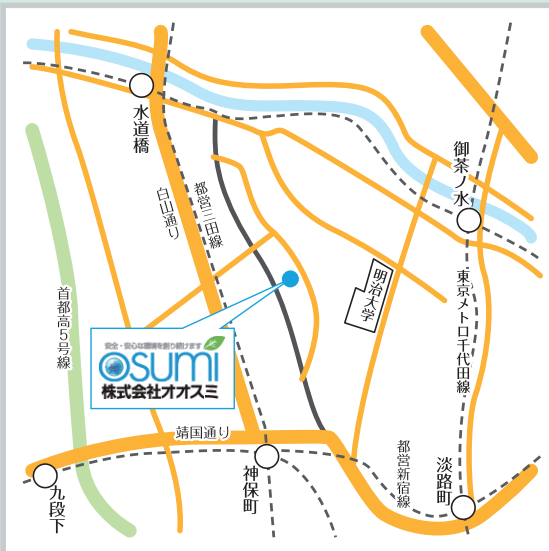
プレゼン発表会にて発表。テーマは「子育てに学ぶマネジメント」。

日頃、5歳の息子に親身に接していると様々な「気付き」があります。ふと、「自分のスタッフにそれが出来ているか?」と思ったのがこの内容のきっかけでした。スタッフを子供扱いするという事ではなく、同じように親身に向き合うことが大切では?という話をしました。皆様から頂いた「アドバイスメモ」は、予想以上の高評価と予想以上のご指摘内容でした。アドバイスを参考に今後のプレゼンに活かしていきたいと思っています。

株式会社オオスミへのアクセス お気軽にお立ち寄りください。



本社
〒246-0008
横浜市瀬谷区五貫目町20番地17
電話 045(924)1050(代) FAX 045(924)1055



東京支店
〒101-0064
東京都千代田区猿樂町2丁目1番14号 A&Xビル
電話 03(3219)5021 FAX 03(3219)5022

※QRコードにアクセスすると、ウェブで地図を確認することができます!

編集後記

第2号発行は、編集委員全7名が新メンバーでの製作になりました。新メンバーに全てを任せられた第2号、何から始めて良いのか全くわからず手間取った部分もありましたが、2号の課題であるページ数2倍増の8ページを何とかクリアし期限までに発行する事ができました。今回もデザインや様々なアドバイスで支えて下さった(株)ムーンファクトリーさんに心から感謝申し上げます。(第2号編集委員長 岩崎伸治)